

特長

稼働中の機械による振動を減衰・吸収することで騒音や隣接機械への悪影響を防ぎ、機械設備の寿命を延ばします。

技術データ

- ・使用温度 max.80℃ min.-40℃
(VDF6 VDF7のみ max.200℃ min.-50℃)
- ・横方向の最大荷重は、垂直荷重の30%です。

防振ゴムの選定方法

■選定の手順

VD1～VD5、VDB6、VDB7、VDF6、VDF7、VDC2の場合

- [Step 1] 防振ゴム選定用グラフを参照し、機械の周波数(Hz=rpm/60)と振動吸収率の交点よりたわみ値を確認します。
- [Step 2] 防振ゴム1個あたりに掛かる荷重をたわみ値で割り、必要なバネ定数(N/mm)を算出します。
- [Step 3] 各製品ページの寸法表内バネ定数と比較し、算出した値に最も近い防振ゴムを選びます。

VD6、VD7の場合

- [Step 1] 防振ゴム選定用グラフを参照し、機械の周波数(Hz=rpm/60)と振動吸収率の交点よりたわみ値を確認します。
- ※VD6、VD7は荷重とたわみ値に直線的な比例関係がありません。そのためたわみ値は参考値となります。
- [Step 2] VD6、VD7選定用グラフを参照し、各品番の荷重が掛かる際のたわみ値を確認します。
- [Step 3] Step 1、2で確認したたわみ値を比較し、VD6、VD7選定用グラフより最もたわみ値に近い防振ゴムを選びます。
- (注)VD6、VD7は形状が円筒形ではなく、荷重とたわみ値は直線的な比例関係ではありません。そのため防振ゴム選定用グラフより参考となるたわみ値を確認し、VD6、VD7選定用グラフよりたわみ値の近似値を探し、製品を選定します。

選定例

VD1～VD5、VDB6、VDB7、VDF6、VDF7、VDC2の場合

使用条件

機械の周波数=50Hz (3000 rpm)
各防振ゴムに掛かる荷重=120N
必要な振動吸収率=90%
必要な形状=VD1

- [Step 1] 防振ゴム選定用グラフより、50Hzの機械の周波数と90%の振動吸収率の交点から、たわみは1.0mmとなります。
- [Step 2] 防振ゴム1個あたりに掛かる荷重をたわみ値で割り、所要のバネ定数を算出します。
120/1.0=120N/mm
- [Step 3] 製品ページ寸法表のバネ定数を確認し、算出した120N/mmに最も近い製品を選びます。
必要な形状=VD1より、VD1-2520M6となります。

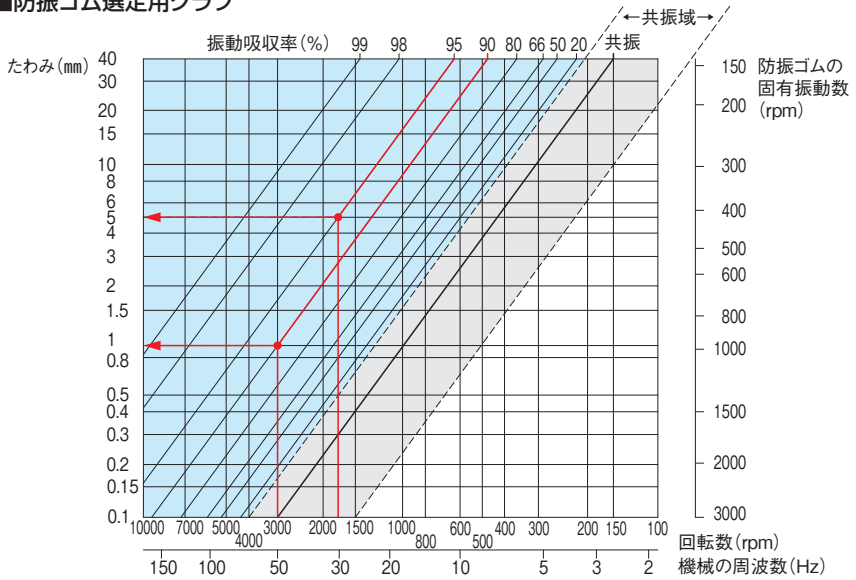
VD6、VD7の場合

使用条件

機械の周波数=30Hz (1800 rpm)
各防振ゴムに掛かる荷重=260N
必要な振動吸収率=95%
必要な形状=VD6

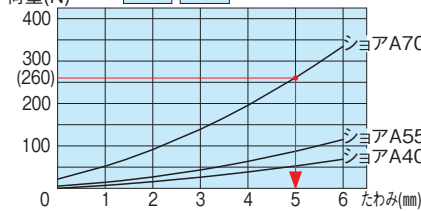
- [Step 1] 防振ゴム選定用グラフより、30Hzの機械の周波数と95%の振動吸収率の交点から、たわみ(参考値)は5.0mmとなります。
- [Step 2] VD6、VD7選定用グラフより、荷重が260N掛かる場合のたわみ値を確認します。
- [Step 3] 最もたわみ値が5.0mmに近いグラフはVD6-2024M6H又はVD7-2024M6Hとなり、必要な形状=VD6より、VD6-2024M6Hを選びます。

■防振ゴム選定用グラフ

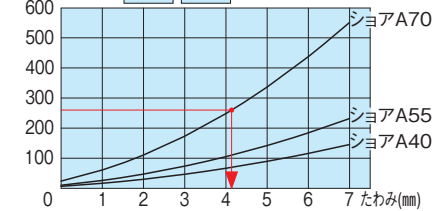


■VD6、VD7選定用グラフ

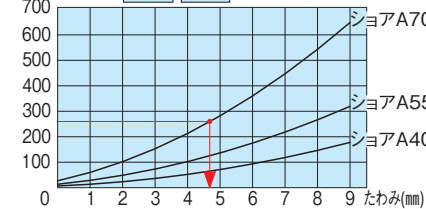
荷重 (N) **VD6** **VD7** -2024



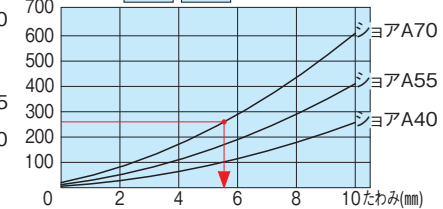
荷重 (N) **VD6** **VD7** -3030



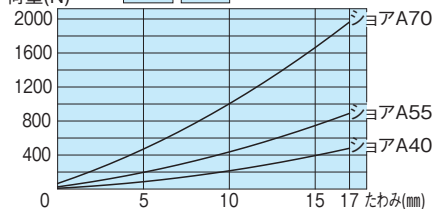
荷重 (N) **VD6** **VD7** -3036



荷重 (N) **VD6** **VD7** -3540



荷重 (N) **VD6** **VD7** -5068



ショアA40: **VD6**-L、**VD7**-L
 ショアA55: **VD6**-M、**VD7**-M
 ショアA70: **VD6**-H、**VD7**-H